

2016年6月30日

**第63回カンヌライオンズ 国際クリエイティビティ・フェスティバルにおいて  
電通グループは電通のデザイン部門グランプリを含め 31 個の賞を獲得  
メディアエージェンシーとしても 32 個の受賞作品に関与**

フランスのカンヌ市で開催された第63回「カンヌライオンズ 国際クリエイティビティ・フェスティバル」※（Cannes Lions International Festival of Creativity 2016）において、電通グループは電通のデザイン部門でのグランプリを含め、合わせて計31個の賞を獲得しました。

本フェスティバルは、①国際クリエイティビティ・フェスティバル（6月18日～25日）、②ライオンズ・ヘルス・フェスティバル（6月18日～19日）、③ライオンズ・イノベーション・フェスティバル（6月21日～22日）、④新設のライオンズ・エンターテインメント・フェスティバル（6月23日～24日）の4つで構成されており、今回のフェスティバル全体では約90の国と地域から43,101作品のエントリーがありました。

電通グループが本フェスティバルで獲得した受賞数は次のとおりです。

①国際クリエイティビティ・フェスティバル（計25個の受賞）

- ・サイバー部門（銀賞2、銅賞1）
- ・デザイン部門（グランプリ1、金賞1、銀賞6、銅賞1）
- ・ダイレクト部門（銅賞1）
- ・フィルム部門（銀賞1）
- ・フィルム・クラフト部門（銅賞1）
- ・メディア部門（銀賞1、銅賞1）
- ・モバイル部門（銀賞1、銅賞1）
- ・アウトドア部門（銅賞3）
- ・PR部門（銅賞2）
- ・プロダクト・デザイン部門（プロダクト・デザイン賞1）

②ライオンズ・ヘルス・フェスティバル（計3個の受賞）

- ・ファーマ部門（銅賞3）

③ライオンズ・イノベーション・フェスティバル（計3個の受賞）

- ・クリエイティブ・データ部門（銀賞1、銅賞2）

デザイン部門でグランプリに輝いたのは「Life is electric」（パナソニック株式会社）、また同部門で金賞に選ばれたのは「世界卓球2015」（株式会社テレビ東京）です。



デザイン部門「グランプリ」の受賞シーン



デザイン部門「金賞」の受賞シーン

この他、電通グループのメディアエージェンシー各社は、計32個（グランプリ1、金賞8個、銀賞13個、銅賞10個）の受賞作品に携わりました。

※カンヌライオンズ 国際クリエイティビティ・フェスティバル（Cannes Lions International Festival of Creativity）は、カンヌ国際映画祭の一部として劇場広告映画のコンクールからスタートし、1954年からは独立して開催されている。規模の大きさ、審査員構成、入賞作品のレベルの高さなどから、数ある国際広告賞の中でも特に高い評価を得ている。

今年行われた第63回「カンヌライオンズ 国際クリエイティビティ・フェスティバル」は、①国際クリエイティビティ・フェスティバル（6月18日～25日）、②ライオンズ・ヘルス・フェスティバル（6月18日～19日）、③ライオンズ・イノベーション・フェスティバル（6月21日～22日）、④新設のライオンズ・エンターテインメント・フェスティバル（6月23日～24日）の4つのフェスティバルで構成され、作品の審査は24の部門で行われた。

24部門は、クリエイティブ・データ、クリエイティブ・エフェクティブネス、サイバー、デザイン、デジタル・クラフト、ダイレクト、エンターテインメント、エンターテインメント・フォー・ミュージック、フィ

ルム・クラフト、フィルム、グラス、ヘルス&ウェルネス、イノベーション、インテグレートッド、メディア、モバイル、アウトドア、ファーマ、PR、プリント&パブリッシング、プロダクト・デザイン、プロモ&アクティベーション、ラジオ、チタニウム。

以 上